真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年3月13日

事務事業名	防災情報発信強化事業		担当課・係	市民生活部　危機管理課　危機管理係
政策名　No	5	「環境づくり」～安全なまちアップ！～	関連するSDGs･DX	
施策名　No	4	防災体制の整備・強化		

成果指標

名　称	単　位	初年度からの実績値の比較 R7	R8	R9	R10	R11	目標値 R11
整備累計台数	台	5,235					
整備率（整備累計／世帯数）	%	16.48					
ＦＭ＋＋登録件数	件	33,415					

事業内容

①防災行政無線による防災情報の伝達
②防災ラジオは、防災行政無線、CTV、市ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ、ｽﾏｰﾄﾌｫﾝ「真岡市公式アプリ」と合わせ、防災情報の伝達手段であり、自動起動装置により、電源が自動的に入り、放送されるのが最大の特徴である。この防災ラジオの導入により、防災情報をより適確かつ迅速に伝達することで防災力の向上を図るとともに、災害から市民の「生命・身体・財産」保護する。
・防災ラジオ：全体整備計画（目標）　R2～R7（６年間）16,900台⇒9,502台へ変更
の整備を目指す。
　令和２年１０月５日販売開始
　令和２年１１月１５日に開設したコミュニティFMを活用し、運用を開始。
　令和３年度末に全体整備計画を見直し、１６，９００台から９，５０２台へ変更。　※市内全世帯数の29.7%　R3世帯数31,946（R7.4.1現在、３１，４５４世帯）
③防災カメラを使用した災害時の情報伝達
　気象状況や河川の水位状況、災害発生時の被災状況などの画像取得することにより、災害情報を迅速に収集し、早期注意情報、洪水・大雨注意報等、高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保など、適切な災害情報の発表につなげ、消防署、消防団の出動要請など、迅速な災害対策に役立てる。特に、大雨時に、主な河川の増水状況を目視（監視）することで、避難指示等を市民に適切に伝達する。。
設置場所：真岡市役所、二宮コミュニティセンター、小貝川（三谷橋付近）、五行川（田島大橋付近）、鬼怒川（砂ヶ原橋下流の鬼怒さくら公園）

前年度の課題（Check）

・市民が防災情報を取得しやすいように、複数の情報発信手段を確保し周知しているが、一定数の人が防災情報の取得をしていない。
（現状）
・防災情報については、市公式アプリ、いちごチャンネルデータ放送等による発信など、防災情報取得方法の選択肢が多様化しており、防災ラジオの販売が減少傾向にある。
※市民アンケート調査において、「防災情報の入手方法」について、「防災ラジオ」からが、令和5年度が21.8%、令和6年度が20.9%、令和7年度が34.8%に対し、「市公式アプリ」、「市ホームページ」の合計が、令和5年度が31.4%、令和6年度が31.9%、令和7年度が、67.4%と増加しており、スマートフォンから情報を取得する傾向になっている。
・市公式アプリ登録者数について、R4が5,515件、R5が6,084件、R6が7,139件、R7が7,831件と増加傾向にあるため、今後、市公式アプリのPR強化をしていく必要がある。
・高齢者のみの世帯では、防災情報の入手方法について、市ホームページ、公式アプリ等の活用が困難であるため、防災ラジオの普及推進が必要であると考える。

7年度振り返り

【１】実績（Do）７年度に実施した事業
◎地域防災座談会等において市公式アプリ、防災ラジオの周知を行った。
◎スマートフォン等が使用できない高齢者等へ防災ラジオの普及を図るためための取り組みを行った。
・事業所等への普及を図るため真岡工業団地管理協会連絡会において周知する。
・無償貸与対象者を女性防火クラブ単位会長や防災リーダーなどへも拡大。
・Weekly Newsもおかや真岡商工会議所、にのみや商工会の広報誌への掲載、市への転入者に対しチラシの配布等を行う。

【２】結果と課題（Check）
・市民が防災情報を取得しやすいように、複数の情報発信手段を確保し周知しているが、一定数の人が防災情報の取得をしていない。（現状）
・防災情報については、市公式アプリ、いちごチャンネルデータ放送等による発信など、防災情報取得方法の選択肢が多様化しており、防災ラジオの販売が減少傾向にある。
・市公式アプリ登録者数について、R4が5,515件、R5が6,084件、R6が7,139件、R7が7,831件と増加傾向にあるため、今後、市公式アプリのPR強化をしていく必要がある。
・高齢者のみの世帯では、防災情報の入手方法について、市ホームページ、公式アプリ等の活用が困難であるため、防災ラジオの普及推進が必要である。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　■ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　□ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【３】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

（1）ただちに取り組むべきこと
・故障した防災行政無線の子局について、修理に費用がかかるものは、順次廃止していく方針のため、市公式アプリ及び防災ラジオの普及に取り組む必要がある。
・SNS（LINE、X）を活用した防災情報伝達。

（2）長期的な計画で検討すること
防災行政無線の維持管理及び親機の計画的な更新。